

アマダイ通信NO. 88

(Tile fish network letter)

2012年梅の季節に

知人・友人各位

正月半ばの三鷹クラブ百回記念シンポジウム&パーティーは、瀋陽から留学の一年生劉君や09年交換留学生で日本に「里帰り」、コクヨに入社した愈さんも参加、120人の定員一杯集まり盛況、寮歌「新墾(にいはり)」を高唱してお開きとなった。「失われた20年」の日本経済の停滞は演者の一人、柳沢元金融担当大臣も反省していたが、冷戦崩壊後の経済のグローバル化に伴う構造的不況であることを見抜けず、需要と供給のミスマッチによる循環的不況と捉え、景気刺激のため需要創出策を取り続けたが景気回復せず、経済の構造改革も進まず、国債だけが積み上がった。今の政治状況で、国民に痛みを強いる政策を取ることは難しく、日本国債が売られて値下がり、金利が上昇することでゾンビ企業が淘汰されて構造改革が進み、金利高による家計の所得増で消費も増えて、供給と需要がバランス、ようやく景気が回復するのであろうか？折から政治も第三極を求める動きが西から現れ、いずれにしろ多少の混乱と痛みが避けられない年となりそうです。

◎癌患者二人、スキー場で共通の執刀医に感謝！

1月最後の土曜日、シーズン4回目のスキーは、東大法学部後輩で元通産官僚、ビックカメラ関連会社社長の加藤君と、がん患者二人。執刀も大学後輩、三楽病院の阿川先生。🐟は大腸がん、転移ありで間もなく9年目、彼は胃がん、胃全部摘出で転移なしの3年目。口が胃の役目をするので、懐石や会食はいいが丼物は駄目なんです。よくおならが出て連れ合いに文句言われますが、メタボにならずにすんでますと、加藤君。1m50cmもある大腸を30cm切っても食生活に何の制限もなく、メタボを嘆く🐟。趣味も一緒に、交互に車を運転、雪山に向かう。胃がんと大腸がん、あなたならどちらを選ぶ？

前々回温泉で傷を見せっこ。みぞおちから臍の上までの加藤君の手術痕は綺麗にくつつき、よく判らない。みぞおちの下から臍を避けて下腹部に達する🐟の手術痕はケロイド状。診察の時阿川先生に傷痕の違いを聞くと、敏感肌はうまく着きにくく、手術痕が残り易いのだとか。呼吸で無意識に常に動いているので、上腹部は下腹部よりも着きにくいとも。アマダイの肌が敏感すぎるのか？難しい筈の加藤君の傷の方が綺麗だということは、5年の間に阿川先生の縫合術が上達したということか？

水上の奥の宝台樹のいつもの蕎麦屋で、沢庵と山菜、もつ煮でビールと地酒の水芭蕉のワンカップを楽しみ、美味しい鴨せいろ蕎麦でめて、いざゲレンデへ！2千円のシルバー半日券でリフト12本乗ってスキーを終えると、ウェアの防水が切れたか？降り続く湿雪に尻と腿が冷たく、ひなびた水上町営温泉でいい湯をして、温まって帰る。二人とも翌日曜日のゴルフは雨で流れたが、がんを患っても委縮せず、主治医の阿川先生のゴッドハンドに感謝、スキーもゴルフもとチャレンジする気持ちが、免疫力を高めるのか？

加藤君の会社は従業員100人、廃家電の処理で15億円売り上げ、営業利益1億8千万円。廃プラをウッドプラスチックの原料にするなど、ビジネスでもコラボ出来る嬉しい。

◎頭の出来が違う！？

2月11日の6回目のスキーも相棒は加藤君。胃ガンで、3年前に胃を全部摘出したが、スキーもお酒も大丈夫。日本人の2人に1人、つまり夫婦の片割れはがんになる。その3分の1、つまり6人に1人はがん以外の病気でなくなるので、がんも今や治らない病気ではない。還暦過ぎれば、一般には仕事も勤め上げ、立派に子供も育て、社会にも貢献、素敵な人生だったと言える。●の様に「ほとんど治癒する見込みなし」(岩波新書「胃がんと大腸がん」)の、他臓器への転移ありというステージⅢbの大腸がんで大腸を30センチカット、切除したリンパ腺9か所中3か所に転移していても、患部を取り切れれば仲間とスキーや酒を楽しむことが出来る。人はいずれ死ぬ。悔いのない人生を送りたい。

8時に勝どきを出、本郷で相棒を拾い宝台樹に向かう。所沢から赤城まで渋滞、水上の出口も行列、途中の奥利根スキー場入口でも車がかえて進みません。久し振りの大渋滞で、宝台樹着2時。たまたま休日の土曜日だったからか？じわじわ景気回復中なのか？福島方面を避けたスキーヤーが、関越方面に流れているというのが真相のようだ。遅れて着いても、いつもの蕎麦屋での「儀式」を欠かす訳にはいかない。ヤマウドの塩漬けを塩出しして味付けしたつきだしと白菜漬けと沢庵、モツ煮が出て、ビールと水芭蕉のワンカップを頂き、鴨せいろで締めて滑り出したのが3時。4時45分のリフト終了まで9本滑る。帰りも道が混んで、露天風呂に入って家に帰り着いたのが11時。

温泉も駐車場が満杯で路上駐車。入口で融雪パイプから水を出し雪を溶かしているが、お盆をひっくり返した状態で凍っているのに気付かず乗り上げ、仰向けに大の字に転ぶ。後頭部を地面に強か打ち付け大往生。脳内出血で一巻の終わりか！開頭手術で一命をとりとめても、後遺症が残り不自由の身か？一瞬しまったという思いが、出血で機能しなくなる筈の脳裏を巡る。まだ考えてるぞ！意識がある！立ち上がっていいかな？動かない方がいいかな？後頭部に手をやるが、熱い液体の気配はない。コブもない。出血してない！取り敢えず立ち上がる。立ち眩みもしない。大丈夫そう！風呂で脳を温めていいか迷うが、せっかくここまで来たのだからと、滑らないように恐る恐る入るが大丈夫。頭は何ともないが、首、肩、胸の筋肉が硬直したままか、一夜明けても痛い。打撲の腰も痛い。

子供が小さい時、家族4人で奥只見丸山でスキー。結婚前に八方尾根の山頂附近で一緒に滑って足を骨折して以来のスキーで、下山中腰を引いてひっくり返り、救急車で小出病院に運ばれた妻は、後頭部頭蓋骨亀裂骨折、前頭部脳内出血でしばらく入院した。頭の出来が違うようだ。●の頭は石で出来ているらしい。

◎開腹の次は開頭？！

2月11日のスキーの後、温泉で滑って頭を打って、石頭自慢をしたのだが、翌週のNHKの「ためして合点」でタイミングよく関連するテーマが報道されたので、何人かから脳外科で診て貰った方がいいよ！とアドバイスを受ける。女性に多いようだが、加齢で脳が縮むと頭骨との間に隙間ができ、その隙間に血管ができて、隙間に溜まった髄液が血管を圧迫、脳内出血に至る場合がある。高齢者が転倒して頭を打った場合、当座脳内出血も外傷もなくとも、同じような症状が出る。一ヶ月ほどで痴呆症に似た症状が現れ、2ヶ月ほどで開頭して脳内出血の手術をしなければいけない。とりあえず一月後くらいに、脳外科でMRIを撮らなければいけない！と、脳外科医になったように言う。

二週間後の日曜日、ホームコースの小川カントリーで久しぶりゴルフ。寮同期の胃腸科医院長の山川君と回る。大腸がんでお腹を開いたというのに、温泉で滑って転んで今度は開頭手術では、神も仏もあるものか!!無神論者が神仏を逆怨みするのはおかしいが、頼りになるのはやはり人様!山川先生にアドバイスを求める。「干場、大丈夫だよ、確率は少ないし、万が一出血しても、頭にドリルで穴開けて、ストローでチューチュー吸い出すようなものだから、大した手術じゃないよ」とのこと、一安心。幸い、3月8日は4半期に一回の大腸がんの主治医の三楽病院の阿川先生の診察日で、1年に一回の腹部と胸部のCTの日程を決めることになっている、久しぶり頭も撮って貰おうというと、MRIでなくてもCTで大丈夫だよ!手術も三楽病院がいいよと、入院先まで決めてくれる。

至れり尽くせりの山川先生にコンサルタント料を払うどころか、パターの技を競う「オリンピック競技」をして、11点の●が7点の山川君から4百円の賞金を巻き上げてしまう。総合大学の寮のネットワークの素敵なところだ。

◎建築営業と相乗効果、水を得た魚の「水商売」!?

3.11の東日本大震災以来、●が普及を手伝う電源開発の井水利用専用水道事業への関心が高まる。震源から遠い茨城県つくば市でも、地震直後から市の水道は三日間水が来なかった。筑波大学病院ではタイミングよく震災当日の朝、電源開発の井水利用専用水道の通水式をしたばかり、そのまま三日間専用水道がフル稼働、病院機能は維持された。食事やトイレ、入浴には勿論、手術にも水は必要だが、人工透析の患者にとって水が来ないことは死を意味する。そこで多くの病院では災害時の水の確保に頭を痛めている。

電源開発の井水利用専用水道システムは、表層地盤の影響を受けず、地盤沈下にも影響の少ない100~150mほどの深井戸を掘り地下水を汲み上げ、砂やマンガン、鉄を除き、ヒ素やホウ素などの有毒物やウイルスなどの病原菌を膜でこし取り、アンモニアの含有量を下げ、更にシリカやカルシウムの含有量も調整、食器洗いや空調にも最適の水を安く提供する。公共水道と違い地震が来ても井戸は地盤と共に上下するだけで断水リスクは小さく、電気があれば水を供給出来る。震災時にも電気は比較的早く復旧し、大きな病院には自家発電機があるので、このシステムがあれば安心だ。水道代も節約できる。ただ地域や使用水量にもよるが、自前でやるとなれば一億円近くの初期投資が必要になり、メンテナンスコストも、人件費もかかる。この初期投資とメンテナンスをお客様に代って電源開発が行い、水を安く供給した上で、水道インフラを二重にし、セキュリティを高められます!というのが●が水先案内人をする、電気屋の電源開発の「水商売」だ。

三鷹寮で一年先輩の橋本昌さんが知事をする茨城県にも三つの県立病院があり、震災時の水の確保を検討しているとの新聞記事を読む。早速先輩にお時間を頂き、県立病院に初期投資不要、安全・安心で、水道料金を大幅に削減出来る電源開発の井水利用専用水道システムを導入、セキュリティ高めることを提案する。幸い東大入学同期、筑波大医学部の先生もしていたらしい病院局長は、先刻勉強済み、筑波大病院の件もご存知で大乗り気。水のデータを頂き、筑波大と、●が水先案内をして二年以上稼働中の東大病院の施設も見学して貰うことに。東大では他に医科学研究所でも稼働済み、水道インフラの二重化で、セキュリティを高めた上で、両方併せて年間四千万円水道代を節約している。かつて「帝大解体!」を叫び、安田講堂に籠城した東大全共闘の熟れの果てが、母校に毎年四千万円、

十年で四億円、百年で四十億円寄付するのだと嘯く。東大病院で導入後、各地の国立大学でも導入が進み、最近でも三鷹寮一年先輩の牟田さんが副学長をしていた東工大の長津田キャンパスや神戸大学病院でも導入され、佐賀大学でも入札中だ。震災時の避難場所に指定されながら非常用水源のない東大農学部でも打合せに入ったが、昨夏の台風被害の処理で忙しいと、話が進んでいない。早く、毎年五千万円、十年で五億円、百年で五十億円母校に寄付するのだと、もっと大きく嘯きたいものだ！

目白の椿山荘と京都駅ビルから始まった●の「水商売」だが、京都駅ビルの外壁カーテンウォールは前職の高橋カーテンウォール在籍中に●が営業し受注した。天皇が入院する東大病院の外壁パネルも●が営業し、前職で製造施工した。建築工事が始まった姫路駅ビルで、先ずは竹中工務店から顧問先の阪和興業が鉄骨を受注した報告と御礼を兼ね、●通信読者で JR 西日本専務から転出した近藤 JR 西日本不動産社長に挨拶。逆に社長から姫路駅ビルにも電源開発の井水利用専用水道を設置したいと積極提案。姫路駅ビル等大型ビルの水のデータを貰うことに。●が外壁カーテンウォール等、建築関係のメーカー営業を手伝う高層ビルや病院、ホテル、商業施設などの大型建築案件では水を大量使用し、災害時の避難拠点や対策拠点になるので、井水利用専用水道を設け、水道インフラを二重にする必要がある。名古屋駅前の超高層ビル、豊田ビル等のオーナーで名古屋駅前で工事中の中経ビルや、建替計画が進行中の第二豊田ビルの件でお世話になっている東和不動産の水尾社長からも水のデータを頂く。大阪では地下水の水質が悪く飲用水利用は難しいので、高橋カーテンウォールが外壁パネルを製造施工した新しい大阪駅北ビルでは、大阪ターミナルビル池田社長にトイレの水などの中水に使う水道水を地下水利用に切り替え、年間 4 千 5 百万円水道料金を削減することを提案、喜んで貰う。ところが、井戸をどこに掘ろうか？と図面を広げると、空中庭園や空中農園として緑地は全て屋上に上がり、地上の空地もバスターミナルへの通路になり、井戸を掘る場所がない。残念ながらギブアップ。

大阪では一部を除き地下水の水質が悪く、飲用水にまで浄化するのはコストがかかるので、大型再開発が進み高橋カーテンウォールが外壁工事をする梅田北ヤード跡地でも、中水利用を提案する。地下水を中水にする方が処理コストが安いので、飲用水の配管と中水の配管が二重になっている時は、中水に利用する方がコスト削減効果大きい。新幹線の新大阪駅ビルは配水管が二重になっていないので、処理コストがかさむが飲用水として利用、年間 2 千 5 百万円水道料金を削減することを提案する。建築営業が先か？「水商売」が先か？は別にして、一つのプロジェクトで、二度お役に立てるのは嬉しい。

◎3 回目のスキーは留学生と GALA 湯沢へ

年度末試験真近かの 1 月 21 日の日曜日、朝 7 時に晴海の我が家を出て、本郷で前週も一緒だった加藤さんをピックアップ。誤って飯田橋から東池袋まで高速を逆走したりし、三鷹寮に着いたら 8 時半過ぎ。スタッドレスタイヤを履いたオデッセイの 4 駆に、世界の若い頭脳 5 人を乗せ、GALA 湯沢へ。JR からリフト券を頂き、顧問先の電源開発の計らいで、越後湯沢の取引先経営のホテルでウェアとスキーを無料で貸して頂き、●の持出しが少なくすむ。帰りに温泉に入れて貰い、露天風呂も楽しんで貰うことに。

寮生 5 人は日本、フィンランド、シンガポール各 1、韓国 2 と国際色豊か。定員一杯で窮屈だが、後列のフィンランドのアカキ君とコリアンの金さんはいい雰囲気、ラブラブ！

中の列のシンガポールのウォン・ジョン・イーさんは雪初体験、韓国の李信愛さん、長崎青雲高校出身の文I2年、宮崎梨乃さんとはおしゃべりが弾み、国際交流を楽しむ。窮屈さも気にならないようだ。12時過ぎに湯沢着。ホテルと貸しスキー屋でスキーの用意、ゴンドラに乗って1時15分のスキースクールの締め切りにギリギリセーフ。

お昼も食わずに真面目にレッスン受けたからか？スクール終了後は全員一緒に初級コースを主に、閉場まで楽しく滑る。歩くスキーが得意というフィンランド出身のアカキ君にマンツーマンのレッスンを受けた金さんより、スクールのレッスンを受けたシンガポールのジョンさんのスキー捌きが上手。プロのレッスンの方が1枚上手か？二人はスキーよりも恋に夢中だったか？お腹が空き早く食べたいとの娘どもの声に押され、温泉入らずに帰ったのは残念。

韓国の金さんとリフトの上で会話、「韓国と北朝鮮は同じ言葉話すけど別の国、統一には興味がない。北朝鮮は中国がどうにかするんじゃないの？」と、思いがけずクールな言葉。冷戦崩壊後に生まれた世代にとって、朝鮮戦争は遙か昔の、想像力の働かない世界の話なのか？前日は赤ん坊連れの、日本に帰化した元留学生のチャイニーズ、汪君夫妻と9ヶ月の丸々太った男の子を交え新宿の木曾路で会食。留学生の何人が「孫」の顔を見せてくれるか？何人が日本に残るか？スキーや華屋与兵衛での二次会で、事務所のコンパで、留学生や寮生との交流を楽しみ、若者同士の交流の場も提供して行きたい！

◆李信愛です。

先日はスキー場につれて頂きまして本当にありがとうございました。干場さんも加藤さんもとても優しくしてくださって、まるでお父さんといったような気持ちでした。本当にとってもいい思い出になりました。ありがとうございました。

◆スキーでお世話になったジョンです！

干場さん、今日、たくさんお世話になったシンガポールからのジョンです。今日のスキー体験、本当に楽しかったです！試験前でも、行ってきて本当によかったと思います（笑）雪をこんなに積もってる景色を始めてみて本当に感動しました。ドラマの中にいる気持ちでした（笑）。日本の冬っていいですね！！そして、スキーの楽しさにも目覚めてもっとやりたいと思って困ったかも（笑）今日は本当にありがとうございました。

でもスキーで転ばないことでいっぱいになって、食事するときも疲れてて、車で爆睡してしまって、あまり話しできなくて残念でした。でもそれでもいろいろ話聞けてよかったです。また今度、ご飯にでも一緒に連れていってくれればうれしいです。（^o^）本当にありがとうございました！！ジョン

◎留学生との二度目のスキーは宝台樹へ

2月18日（土）日の7回目のスキーは留学生2人とジョルダンの佐藤社長で宝台樹へ。韓国から学部受験で入学の、前回のガーラも参加の一年生の李信愛さんとミシガン大学からの交換留学生のダイアナさん。名前から白人かと思っていたのだが、台湾出身。前日台湾から帰って来たばかりとのこと。母親はミシガンにいるが、離婚した父親は上海にいます。複雑。韓国の長く厳しい受験競争に勝抜き東大合格の、李さんの両親は公務員。

今回はスキー場と交渉、留学生は団体扱いでレンタルスキー、ウェア、リフト券込みで半額の4千5百円にして貰う。常連客の強み！？スキースクールに入らず、最初に滑った

中級コースを苦勞してようやく降りて来たので、別れてファミリーゲレンデで滑って貰う。懲りずに前回転んで頭を打ったのと同じ温泉にも入る!!女の子の長湯に付き合い、温泉出たのが7時。荻窪で二人を、新宿で佐藤社長を下ろし、家に着いたのが10時。韓国とアメリカから来た二人の女の子は異国でスキーツアーを楽しんで、更に昵懇になったようだ。

このところ三回連続で道路もゲレンデも蕎麦屋も混む。前日、旦那に子供の面倒みて貰いガーラ湯沢で友達とスノーボードして来た娘は、帰り50キロ渋滞でようやく帰ったと、寄越したメールの発信時刻は夜中の12時半。福島のスキー場がガラガラなことと裏腹だ。

◆李：干場さん、写真ありがとうございます。この間はとても楽しかったので18日にもぜひとも御一緒に行かせていただきたいと思います。

◆シヨン：干場さん、写真ありがとうございます!スキーの楽しさを思い出しますね♪18日のスキートリップ誘ってくれてありがとうございます!行きたいけど、そのときは韓国に旅行に行ってますので一緒に行けません。また機会があれば一緒に行きたいです!

◎ユニクロに入りました・・南京の呉さんと

昨年宝台樹へスキーに連れていった中国・南京からの交換留学生、呉さんから久しぶりにメールを頂いた。日本でユニクロの入社試験を受け、採用されたようだ。又、スキーと一緒にいけるのは嬉しいが、帰国留学生が日本で日本の会社に採用されるのは隔世の感だ。

◆呉：干場さん、お元気ですか?その前、ユニクロの国際人材が採用の面接で、東京に行きました。電話かインターネットがないですから、連絡できませんでした。それに、一週間でユニクロの店で働きました。最後の日、柳井社長と話しました。ユニクロに入られました。私、その仕事に入ったら、八月に日本へ行くと思います。ユニクロの仕事、どう?

その前、干場さんと話すとき、日本語があまり分かりませんでした。残念でした!だから、今、自分で日本語を勉強しています。このメールの中で、多分たくさん文法間違いがある、でも、私ぜひ頑張ります!ハハハ! 呉鴻 南京大学

◆李：ユニクロはご存知のように勢いのある会社です。世界中に展開するために、グローバルに人材を求めています。仕事の厳しさ等は実習で分かったと思います。ファッション業界に興味があるかないかの問題ではないでしょうか?住まいが勝どきなので、近くの豊洲のユニクロにスキー用にヒートテックを買いに行ったら、南京から来たという女の子がいましたね!

◆呉：返事、ありがとう^^昨日、両親の家から南京へ帰った。南京はいま大雨を降っている。干場さんは、忙しそうだ。三鷹寮の増築の事はどう?今年も、留学生と一緒にスキー場へいくですか?いいね!去年の二月に群馬でスキーの場面は今までも、忘れない。そのそばも美味しいだった。懐かしいね。明日から、新しい学期を始める。週末にアルバイトを探すに行くつもりだ、卒業旅行のために^^

◎「人口問題(主として少子化)」・・・

東大三鷹クラブ第101回定例懇談会(大阪開催)のご案内

今回の講師は、26年入寮の平賀俊行代表(日中技能者交流センター顧問)です。平賀さんは、旧労働省に入省後、雇用政策、労使関係、労働基準、国際労働、等々の分野において活躍されると同時に、三鷹寮には足繁く通い、後輩の面倒見も特に良く、ご夫人をして

「貴方の趣味は三鷹寮」と言わせるほどでした。現三鷹クラブが結成でき、今日あるのも平賀さんなしにはあり得ません。我々33年組の故三谷恭正のアジテーションにオルグられ、平賀先輩の熱心で且つ適確な企画、根回し、事務処理に感心して、不肖私も三鷹クラブ設立の事務方の一端を担わせていただきました。

ところで、今回のテーマは1992年の国民生活白書以降常に問題が指摘されて来たにもかかわらず、一向に解決の兆しが見えてきません。今年起きた福島第一原発の事故も、はやくから問題が指摘され、避難時のマニュアルまで出版されていたのに、何もしてこなかった東電・政府はもちろん、県・市町村・住民も積極的に対応して来なかったように、少子化問題にも効果的な施策はなされていません。

生物学的、身体的には、女子は20代で子供を産むのが最適なのはわかっているのに、女性の社会参加と高学歴化、経済成長にともない、出産年齢は30代にシフトし、結婚しない・出来ない男女も増えているのが、現在の日本の姿ではないでしょうか。

年金や社会保障政策などについても、第一義的に影響する人口政策を抜きにして、税と社会保障の一体改革が議論され、消費税が導入されようとしています。人口問題・少子化問題は、喫緊の課題であるとともに、50年100年の課題です。国のすべての施策にかかわる、基本的なテーマであります。

2025年には日本は世界の上位国から中位国になるとの予測が、国際的に頻繁に語られているのに、日本の安保・防衛政策もこのような課題の解決と同時に語られねばなりません。

平賀先輩の今回のテーマは、三鷹クラブ会員各位の多方面からの問題提起が期待される課題と考えられます。平賀先輩は、1998年の7月第20回定例会で「日本の雇用問題」について東京で講演していますが今回大阪では新たなテーマで講演されます。御夫人や娘さんなど女性の方の参加も大歓迎です。
(昭和33年入寮 秋山 順一)

日時：平成24年3月15日(木) 18時30分～21時(開場 18時)

場所：中央電気倶楽部本館207号室(大阪市北区堂島浜2-1-25 電話06-6345-6351(代))

JR大阪駅徒歩12分地下鉄四ツ橋線西梅田駅より徒歩5分(堂島地下街南詰C-93番出口)

会費：5000円(会場費、夕食代・ビール代、通信費など込み)

定員：30名(先着順：定員を超えない限り特に連絡は致しません)

申込先：平賀・干場 Fax 03-5689-8192 電話 03-5689-8182

(有)ティエフネットワーク Email: tfn-hoshiba@blue.ocn.ne.jp

◎世代超え、グローバルに忘年会

12月17日(土)の三鷹寮での「三鷹市民と東大三鷹国際留学生との交流会」に続き、事務所で寮生と忘年会。寮生がフランス1、インドネシア・中国各2の留学生を含め十人。三年生の宮本君、院生の岡本君、農水省の坂東君、S43年入寮の井上君、同じ43年の勝部君がデザート持参で参加。通信正月号作成やらでバタバタし、連絡が遅れた割には、多世代の若者が集まり、おでんと寿司、ピザで世代を越えてグローバルに交流。参加者は、石愛潔(中国、2008・AIKOM)、サ シャ(インドネシア International Relations AIKOM)、アリソン(フランス Sciences Po AIKOM)、石田 翔太郎(尾道北 2010・S I)、佐々木 拓輝(仙台二高 2011・L II)、李家芸(上海 2008・Finance)、エルディ(インド

ネシア IR-AIKON)、和田 崇史 (東邦大東邦 2011・S I)、宮本 洋之 (洛南 2008・法学部)、岡本 和也 (岡崎 2006・情報理工学系研究科)、伊藤 拓也 (楊 楊) (大阪・清教学園 2010・理II)

のフィンランド紀行 (2)

・・近ツリ「フィンランド満喫6日間」2011. 8. 9～

⑦トナカイで日本酒

タンペレを発ったバスはヘルシンキからと同じくらいの距離を、古都トゥルクへ向け南西に走る。途中、知らぬは僕一人だけの有名なイッタラのガラスセンターで買物と昼食。シンプルですっきり、機能的なデザインの国フィンランドらしいガラスや陶器、金属や木、織物製の日用雑貨の他にムーミン雑貨も。旅女はいつも買うのが好きで、だから牝牛はCOWというのかと思うが!? フィンランドに行ったらイッタラで買物をする決めていたらしく、品定めに余念がない。仕方なく外のベンチに一人掛け、旅行作家!? に変身! 携帯で紀行メールを作成、事務所のパソコンに国際メール。ガラスセンターの昼食は美味しいサーモンのグリルを肴に地ビールを飲む。レギュラー缶 3,8 ユロ。

更に古都トゥルクへ。スウェーデン領の時はこの町が首都。ロシア支配に変わり、ロシアに近いヘルシンキに遷都。大聖堂、野外のマーケット広場、屋内のマーケットホール、トゥルク城を見学。移民や難民が増え、ルーマニアやブルガリアからロマ (ジプシー) も流れて来て治安が悪くなったと、ベテラン日本人ガイド。治安が悪化すると「外人のせい」にするのはどこの国も同じ。この町の中心部のマンションが 60 平米で 2 千万円とも。黒い肌の娘三人が番をする店もあるマーケットホールで、ガイドお勧めのトナカイの燻製を買う。

造船所でロシアの賠償用の船も造られた河口に発達した港町、造船所のクレーンが並ぶ町から、ムーミンワールドのあるリゾート、ナータリ・スパ・ホテルへ。ホテルのレストランでサーモンの前菜とチキンのグリルを肴にビール一杯 6.5 ユロでは足りず、地酒の蒸留酒コスケンコルバを頼むがなく、ジンのカクテルを頼む。こちらは 7 ユロ。因みにミネラルウォーターは 2 ユロ、ソフトドリンク 2 百 ml、1.9 ユロ、4 百 ml、2.8 ユロ。トナカイの燻製で日本酒を寝酒するが、塩がきつくて、今一だ。

⑧森林大国でウッドプラスチック「革命」を!

三日目の朝 7 時からビュッフェの朝食後、ナータリ・スパ・ホテルのプールに。広くて綺麗、温かくて気持ちいい。本場のサウナも体験。ゴルフ場の狭い木製のサウナしか知らないが、広いタイル張りで暗い中、湯気で周りがよく見えない。バスで近くの海辺の、夏だけ開園のムーミンワールドへ。栈橋を歩いて渡ったムーミン村ではお馴染みのキャラクターが出迎えてくれ、歌や踊りで大歓迎。子連れの家族は大喜び。勝部夫妻とざっと見て、温かいピザでビールでも飲みたいねとレストランを訪ねるが、ムーミン家は下戸だからか? 子供の国だからか? ソフトドリンクしか置いていない。仕方なく早々と対岸のレストランへ。高級レストランへ入ったようで調度も雰囲気も素敵。茹でて殻を剥いたザリガニの乗ったシーザーサラダ、白身魚のフライ、砂糖大根とチーズのパスタ、フライドポテトに乗った掌状に叩いた大きな牛カツをシェア、ビール、ワインを楽しみ、念願の地酒、蒸留酒コスケンコルバをようやく味わう。

ウォッカ似だが、冷やし方が足りないか？あっさりして、甘味、とろみが少ない。フィンランド料理は不味いという定評を覆す味に、グルメの勝部夫妻も美味しいを連発。

食後バスでヌークシオ国立公園へ、森と湖の間を走る。所々収穫期で金色に輝く麦畑や牛や馬が草を食む傍らに、長い冬を乗り切るため、白くパックされた乾し草のロールが転がる牧場。国土面積の4分の3は森林で、森林の成長量は伐採量より2～3割も多く、現在は独立以降最大のストック(20億立方メートル)を誇り、輸出に占める森林産業関連比率2割を未だ維持する木材大国フィンランド。木材は製品化の過程で半分は木屑と化し産業廃棄物扱いされる。その木屑6～8割にプラスチックを2～4割均等に混ぜ、プレス成形、木とプラスチックの両方の良さを備えたバイオマスプラスチックの新素材を合成、安価でエコな、プラスチック代替製品を世に出そうと、先ずベンチャービジネス(木屑プラスチックテクノロジー)を友人と創業、搬送用パレットを世に出した。出来ればフィンランドの木材産業の片鱗でも垣間見れればと思ったのだが、高速道路沿いの並木越しに一ヶ所、一瞬目にしただけで残念だ。

遠くない将来、ムーミンでも、カモメ食堂でもなく、レーニンと森林産業の視察のために、この国を訪れたいものだ。木材産業の盛んな所では木屑も大量に出る。そこは又、ウッドプラスチックの工場適地でもある。それは世界の森林資源の有効活用、化石資源の使用抑制、二酸化炭素排出抑制の大革命の拠点ともなる。かつて夢見て果たせなかった「世界革命」を！？

⑨異郷で故郷を懐う

バスは道中何度か激しい雨に見舞われながら「かもめ食堂」の舞台、ヘルシンキ郊外のヌークシオ国立公園へ。フィンランドらしい森と湖の風景をハイキング。氷河期の終わりに、柔らかい表土は氷と一緒に海に流され、固い岩盤に覆われた国土が残る。数千m厚の氷の重さから解放され、未だに隆起が続く。地震はないが農耕地は少なく、岩盤にへばりつく様に生える木々は強い風に倒される。ゴロゴロしている風倒木をミミズや白蟻等の小動物、腐朽菌等の微生物が腐葉土に分解、風化し細粒となった岩石と共に、長年月かけて表土が形成される。

白神山地の懐に抱かれ、日本海の波に揺られ育った人間が遥か異国で、わざわざハイキングすることの不思議。裏山で杉の切り株に腰掛け、冷たいせせらぎに足を浸し、木漏れ陽で本を読み、十二湖の青池の神秘の藍に感嘆の息を呑み、アワビやサザエを求め、アイナメを追いかけ、日本海の底知れぬ蒼に学んだ自然への畏怖。ヘルシンキの森と湖で故郷の少年時代を想う。白神の森と湖を首都の眼と鼻の先で思い出すことが出来るのは、少ない人口が国土に分散し、人口57万人と小振りな首都故か？ブルーベリーやコケモモ、スグリの実を採り、味わう。アケビや烏瓜はないという。市民が普通に週末をのんびり過し、茸やブルーベリー狩りをして、瓶詰めやジャム作り等を楽しむ別荘が点在する。

雨上がりの虹のかかる森を後にかもめ食堂、カフェ・スオミへ。小柄で茶色の髪の毛を除けば日本人と見紛う夫婦と、スラッとした看板娘がフロアを切り盛りするカフェ・スオミは街の定食屋さん、日本人で大盛況。名物の肉団子定食を食べる。カボチャと豆のスープ、サラダを自分で皿に盛り、皮つきのじゃがいも肴に地ビールと地酒のコスケンコルバを飲む。少し酸味のあるライ麦パンも美味しい。なぜ南米原産のじゃがいもに主食の座を奪われたのか。かつて原産地ペルーを旅した時、4千メートル超の峠にもじゃがいもは植えられていた。ライ麦よりもじゃがいもの方が寒さに強いのか？暮れなずんでなかなか暮れない港町ヘルシンキの青い空を、白神の空やペルーの首都リマの空と同じく、白く区切ってカモメが飛ぶ。(続く)

◎2012年 緑の地球ネットワーク 春の黄土高原植樹ツアーのご案内

🌱が世話人（理事）をしている認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク（GEN）の黄土高原植樹ツアーのご案内をさせていただきます。デーブチャイナの現実を知りたい方、ありきたりの海外ツアーとは違ったツアーを体験したい方、海外での緑化活動に興味のある方、乾いた漆黒の闇に無数の星の浮かぶ様を眺めたい方、かつて北魏の都平城京（奈良の平城京のお手本）として栄え今は黄土と化した地で、人の世の無常を感じたい方 etc、それぞれに得るものの多い旅となることを保障致します！

緑の地球ネットワークが中国山西省大同市の黄土高原で緑化協力をはじめて 20 年。現地の気候、土壌や植生を考えて、持続可能な多様性のある森林の再生を目指しています。今春は、そのための最重要拠点である、南天門自然植物園をメインに訪れます。ぜひご参加ください。

【日程 4月7日（土）～13日（金）】

- 7日（土） 10時 関西空港発（NH159）・09時35分羽田発（JL23）、集合は2時間前。
昼 北京空港着。バスで大同へ。明珠国際商務酒店泊
- 8日（日） 南天門自然植物園見学、作業。明珠国際商務酒店泊
- 9日（月） 農村で緑化活動、交流。雲崗国際酒店泊
- 10日（火） 采涼山、カササギの森で見学、作業。雲崗国際酒店泊
- 11日（水） 緑の地球環境センター見学、作業。雲崗国際酒店泊
- 12日（木） 雲崗石窟見学、大同市内観光。夜行列車で北京へ 車中泊
- 13日（金） 早朝、北京着。北京市内観光 14時20分 北京空港発（NH160）、18時20分 関空着
19時50分成田着（JL864）

【旅行代金】16万円（関西空港発着、全日空利用）、燃油サーチャージ等1.2万円程度がほかに必要です。緑の地球ネットワーク年会費1.2万円も別途お願いします。

東京発着は、航空運賃差額1,000円を別途いただきます。

【お問合せ】緑の地球ネットワーク事務所へ。

〒552-0012 大阪市港区市岡 1-4-24 住宅情報ビル 5F、TEL. 06-6576-6181 FAX. 06-6576-6182

E-mail gentree@s4.dion.ne.jp、URL <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

◎リスクテイク（結びにかえて）

ベンチャービジネスで十億円超の他人の金を預かり、営業顧問業という「客商売」をしているから、リスクを避けスキーはやらない方がいいとアドバイスする人もいますが、スキーのリスクテイク、スピード、ダイナミズム、スリルはベンチャービジネスと通じます。

ゴルフはスキーに比べスピード、スリル、ダイナミズムに欠けますが、目の前に森が立ちほだかると、一打損しても横のフェアウェイにボールを出す無難なプレーが出来ず、リスクを取ってしまいます。あの木の上を飛ばせば距離を稼げるとか、木の間を抜ければ、バンカーを越えればグリーンに乗る！と、自分の技術でわずかでも可能性があるというチャレンジ。それがことごとく裏目に出て、中々百を切れないのですが、実生活では取れないリスクも、気楽に取れるのがゴルフのいいところかも知れません!?

郵便局がクロネコに対抗、大口ユーザー向けの料金後納ゆうメールとして、1通 50gまで 62円にサービスしてくれることになった。年6回3千部ずつ発送する🌱には大助かり。普通郵便 25gまで 80円の制限がなくなり、🌱通信も本人同様メタボになってしまった（再見）。